



平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年9月28日

上場会社名 岡谷鋼機株式会社 上場取引所 名
 コード番号 7485 URL <http://www.okaya.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岡谷 篤一
 問合せ先責任者 (役職名) 企画本部企画部長 (氏名) 中島 孝次 (TEL) 052-204-8133
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月15日 配当支払開始予定日 平成30年10月31日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績 (平成30年3月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	457,534	12.2	10,061	19.0	12,207	12.1	8,265	10.5
30年2月期第2四半期	407,702	14.1	8,455	40.8	10,891	30.7	7,478	36.3

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 2,710百万円(△68.2%) 30年2月期第2四半期 8,527百万円(16.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	858.58	—
30年2月期第2四半期	776.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	515,853	212,652	39.4
30年2月期	502,396	211,153	40.2

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 203,290百万円 30年2月期 201,860百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	90.00	—	100.00	190.00
31年2月期	—	100.00			
31年2月期(予想)			—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想 (平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	920,000	8.1	20,000	11.0	23,000	2.6	17,000	12.9	1,765.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期2Q	9,720,000株	30年2月期	9,720,000株
② 期末自己株式数	31年2月期2Q	93,625株	30年2月期	92,183株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期2Q	9,626,714株	30年2月期2Q	9,628,009株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考資料	9
(1) 売上高のセグメント別内訳	9
(2) 取引形態別売上高内訳	9
(3) 設備投資額並びに減価償却費	9
(4) 人員の推移	9
(5) その他補足資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中間の貿易摩擦等により緊張感が高まりましたが、好調な米国経済を背景に全体として緩やかな成長が持続しました。

日本経済は、製造業の活発な生産活動に加え、好調な企業収益を背景に設備投資と個人消費が堅調に推移しました。

このような状況下にあつて、当第2四半期連結累計期間における売上高は、4,575億34百万円で前年同期比12.2%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が309億62百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益が100億61百万円（前年同期比19.0%増）、経常利益が122億7百万円（前年同期比12.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は82億65百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

これを事業のセグメント別に見ますと、次のとおりであります。

(鉄鋼)

鉄鋼部門は、鋼材価格の上昇に加え、土木・建築及び製造業向けを中心に堅調でした。

特殊鋼部門は、国内外で自動車や建機・工作機械等の生産が堅調に推移し、数量も増加しました。

海外は、鋼材価格の上昇に加え、東南アジア向けが増加しました。

鉄鋼セグメントの売上高は、1,898億97百万円（前年同期比11.5%増）となり、順調でした。

(情報・電機)

非鉄金属部門は、原材料価格の上昇に加え、自動車関連を中心に国内及び中国向けが増加しました。

エレクトロニクス部門は、車載用電子部品及び機器類、FA・IT関連などの分野で増加しました。

情報・電機セグメントの売上高は、959億41百万円（前年同期比9.1%増）となり、順調でした。

(産業資材)

化成品部門は、原材料価格の上昇に加え、自動車関連向けが増加しました。

メカトロ部門は、設備機械や部品・工具の伸びに加え、航空機向けが大幅に増加しました。

産業資材セグメントの売上高は、1,424億89百万円（前年同期比16.6%増）となり、好調でした。

(生活産業)

配管建設部門は、ガス関連資材が底堅く推移し、建築物の請負工事が増加しました。

食品部門は、水産物の輸入及び量販店向け鶏肉加工品等が増加しました。

生活産業セグメントの売上高は、292億6百万円（前年同期比7.3%増）となり、堅調でした。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は5,158億53百万円となり、保有株式の時価下落に伴う投資有価証券評価額の減少はありましたが、たな卸資産の増加などにより前連結会計年度末に比べて134億57百万円増加しました。

負債は3,032億1百万円となり、仕入債務の増加などにより前連結会計年度末に比べて119億58百万円増加しました。

純資産は2,126億52百万円となり、その他有価証券評価差額金の減少はありましたが、利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末に比べて14億99百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の業績は概ね計画通りに推移しており、現時点においては平成30年3月30日発表の予想数値を据置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,484	14,604
受取手形及び売掛金	186,782	190,089
電子記録債権	29,223	32,205
商品及び製品	50,632	57,241
仕掛品	3,739	8,379
原材料及び貯蔵品	1,482	1,606
その他	11,069	14,320
貸倒引当金	△598	△634
流動資産合計	295,816	317,815
固定資産		
有形固定資産	38,897	38,231
無形固定資産	1,267	1,218
投資その他の資産		
投資有価証券	143,198	134,871
その他	23,496	23,997
貸倒引当金	△279	△278
投資その他の資産合計	166,415	158,589
固定資産合計	206,580	198,038
資産合計	502,396	515,853

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	100,769	105,683
電子記録債務	17,557	17,978
短期借入金	104,721	107,071
未払法人税等	3,022	2,587
賞与引当金	1,296	1,416
その他	11,783	16,919
流動負債合計	239,150	251,655
固定負債		
長期借入金	11,698	13,051
繰延税金負債	34,337	32,286
役員退職慰労引当金	778	844
退職給付に係る負債	1,814	1,892
その他	3,463	3,469
固定負債合計	52,092	51,545
負債合計	291,242	303,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	114,674	121,976
自己株式	△457	△462
株主資本合計	131,144	138,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,088	60,623
繰延ヘッジ損益	△180	130
為替換算調整勘定	608	△22
退職給付に係る調整累計額	4,199	4,116
その他の包括利益累計額合計	70,716	64,848
非支配株主持分	9,293	9,362
純資産合計	211,153	212,652
負債純資産合計	502,396	515,853

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	407,702	457,534
売上原価	379,199	426,572
売上総利益	28,502	30,962
販売費及び一般管理費	20,047	20,900
営業利益	8,455	10,061
営業外収益		
受取利息	681	746
受取配当金	1,790	2,001
持分法による投資利益	549	422
その他	317	390
営業外収益合計	3,338	3,560
営業外費用		
支払利息	779	961
手形売却損	10	10
その他	113	443
営業外費用合計	902	1,415
経常利益	10,891	12,207
特別利益		
固定資産売却益	3	12
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	3	12
特別損失		
固定資産処分損	11	6
投資有価証券評価損	22	—
その他	0	0
特別損失合計	33	6
税金等調整前四半期純利益	10,860	12,212
法人税、住民税及び事業税	3,415	3,247
法人税等調整額	△396	324
法人税等合計	3,019	3,571
四半期純利益	7,841	8,641
非支配株主に帰属する四半期純利益	363	375
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,478	8,265

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益	7,841	8,641
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	442	△5,488
繰延ヘッジ損益	28	311
為替換算調整勘定	△76	△395
退職給付に係る調整額	274	△82
持分法適用会社に対する持分相当額	15	△275
その他の包括利益合計	686	△5,930
四半期包括利益	8,527	2,710
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,156	2,398
非支配株主に係る四半期包括利益	371	312

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	170,335	87,904	122,231	27,232	407,702	—	407,702
セグメント間の内部売上高 又は振替高	481	1,051	268	663	2,464	△2,464	—
計	170,816	88,955	122,500	27,895	410,167	△2,464	407,702
セグメント利益	3,039	1,942	2,962	993	8,937	△481	8,455

(注)1. セグメント利益の調整額△481百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	189,897	95,941	142,489	29,206	457,534	—	457,534
セグメント間の内部売上高 又は振替高	504	848	318	719	2,390	△2,390	—
計	190,402	96,789	142,807	29,925	459,925	△2,390	457,534
セグメント利益	2,912	2,061	3,887	1,212	10,073	△11	10,061

(注)1. セグメント利益の調整額△11百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 参考資料

平成30年9月28日

平成31年2月期 第2四半期決算関係参考資料

岡谷鋼機株式会社

(1) 売上高のセグメント別内訳 (当第2四半期累計実績 及び 通期予想)

【連結】

(単位：百万円、単位未満切捨て)

	当第2四半期累計実績			前第2四半期累計実績			通期予想		
	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
鉄 鋼	189,897	41.5	11.5	170,335	41.8	17.5	379,000	41.2	7.6
情報・電機	95,941	21.0	9.1	87,904	21.5	17.3	197,000	21.4	6.5
産業資材	142,489	31.1	16.6	122,231	30.0	9.4	285,000	31.0	10.6
生活産業	29,206	6.4	7.3	27,232	6.7	5.0	59,000	6.4	4.5
合 計	457,534	100.0	12.2	407,702	100.0	14.1	920,000	100.0	8.1

(2) 取引形態別売上高内訳

【連結】

(単位：百万円、単位未満切捨て)

	当第2四半期累計実績		前第2四半期累計実績		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
国 内 取 引	312,998	68.4%	282,123	69.2%	30,875	10.9%
海 外 取 引	144,536	31.6%	125,579	30.8%	18,956	15.1%
合 計	457,534	100.0%	407,702	100.0%	49,831	12.2%

(3) 設備投資額並びに減価償却費 (当第2四半期累計実績 及び 通期予想)

【連結】

(単位：百万円、単位未満切捨て)

	当第2四半期累計実績		通期予想	
	金額	構成比	金額	構成比
設 備 投 資 額	1,125		4,100	
〈主な内容〉				
事務所設備更新	160		事務所設備更新	520
社内システム関連	82		社内システム関連	830
工場設備増設(タイ)	43		工場設備増設(タイ)	300
工場設備増設(新潟・愛知)	131		工場設備増設(新潟・東京・愛知)	450
工場設備更新(北海道)	90		工場設備更新(北海道)	200
ソフトウェア	44		ソフトウェア	200
車両運搬具	47		車両運搬具	120
樹脂成型用金型	277		樹脂成型用金型	560
その他	251		その他	920
減 価 償 却 費	1,750		3,900	

(4) 人員の推移

【連結】

(単位：千円、単位未満切捨て)

	平成31年2月期 第2四半期	平成30年2月期 第2四半期	増 減
期 末 人 員	5,114名	5,053名	61名
従業員一人当たり 売 上 高	89,466	80,685	8,781
従業員一人当たり 当 期 利 益	1,616	1,479	136

(5) その他補足資料

◇◇◇株主優待のお知らせ◇◇◇

【一般株主向け優待】

優待内容	保有株式数	権利確定日	発送時期
愛知県産米	200株以上	8月末	10月下旬
山の幻ミネアサヒ 5kg	100株以上	2月末	4月下旬

【長期保有株主向け優待】(※)

優待内容	保有株式数	権利確定日	発送時期
図書カード 1,000円相当	100株以上	8月末	10月下旬
図書カード 2,000円相当	100株以上	2月末	4月下旬

※一般株主向け優待に加え、半期毎(8月末及び2月末)に発行される最終株主名簿に、同一株主番号で連続6回以上記載されていることを条件として贈呈。発送は通常の株主優待とは別送となります。

◇◇◇当第2四半期累計期間のトピックス◇◇◇

当第2四半期累計期間に、新たに展開した事業及び主な出来事をご紹介します。()内は公表年月

◎ 中村鋼材株式会社の子会社化(平成29年12月)

当社は、中村鋼材株式会社が鉄鋼事業を分割し新設した会社の発行済み株式(97%)を取得し、3月1日付で子会社化しました。

◎ 米国岡谷鋼機会社 ホプキンスビル事務所開設(平成30年2月)

米国岡谷鋼機会社は、3月にシカゴ支店の傘下にホプキンスビル事務所を開設しました。自動車産業の集積地であるケンタッキー州において、地域に密着した営業活動を行っています。

◎ インド岡谷鋼機会社 アーメダバード支店開設(平成30年2月)

インド岡谷鋼機会社は、3月にアーメダバード支店を開設しました。自動車産業が発展するグジャラート州において、地域に密着した営業活動を行っています。

◎ 鶴岡工業高等専門学校との協定締結(平成30年6月)

当社は、鶴岡工業高等専門学校および当社グループの株式会社新池田と三者で、6月に寄付事業に関する協定を締結しました。同校に対する寄付を通じて地域課題に関連した研究やIT人材の育成を行い、地域活性化を目指しています。

◎ 平成30年7月豪雨災害被害への義援金寄付(平成30年7月)

西日本を中心に甚大な被害を及ぼした豪雨による被災者の方々に対し、7月にグループ会社と共に200万円を社会福祉法人中央共同募金会に寄付しました。

◎ チャリティーコンサート開催(平成30年8月)

7月に「オカヤ チャリティー コンサート 2018 ～感謝の夕べ～」を、日本特殊陶業市民会館フォレストホールにて開催しました。チケット売上金と当社からのマッチングギフト、皆様からお預かりした募金を合わせ、合計484万円余を社会福祉法人愛知県共同募金会に寄付しました。

以上